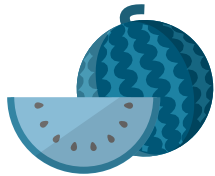
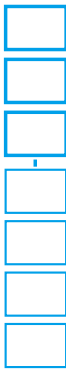


さば和則

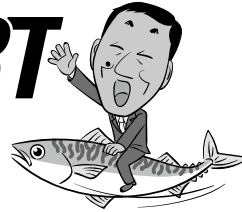
市内特別郵便



県政REPORT

レポート

No.43



佐波和則オフィシャルサイト www.saba-3839.jp

令和2年6月 定例愛知県議会報告 議会日程&議案結果



6月定例愛知県議会は、6月17日～7月6日まで20日間の会期で開かれ、一般会計で1,164億9,652万円余の補正予算をはじめ、条例の制定や一部改正、意見書案などを審議し、すべて可決しました。主な補正予算では、国の第2次補正予算の成立に呼応し、「愛知県新型コロナウイルス感染症対策」として、新型コロナウイルス感染症患者を重点的に受け入れる医療機関の支援(270億円)、医療機関にお

ける院内感染防止対策や医療体制の確保支援(218億円)、医療機関等や社会福祉施設職員への医療金交付(363億円)、児童福祉施設における感染症対策の推進(23億円)、学校における児童生徒の学びの保障(15億円)などが計上されました。また、新体育館の整備事業として200億円の債務負担行為が設定されました。

主な新型コロナウイルス感染症対策

- 1 医療機関従事者慰労金(県から役割を設定された医療機関等に勤務)
 - ・患者に診療等を行った医療従事者や職員(20万円)
 - ・患者に診療等を行っていない医療従事者や職員(10万円)
 - ・上記以外の病院、診療所等に勤務し患者と接する医療従事者や職員(5万円)



- 2 新型コロナウイルス感染症に対する不安を抱えた妊産婦を支援(分娩前ウイルス検査への支援(上限2万円))

- 3 社会福祉施設職員慰労金
 - ・新型コロナウイルス感染症が発生又は濃厚接触者に対応した介護施設、障害者福祉施設及び救護施設に勤務し、利用者と接する職員(20万円)、上記以外の施設に勤務し、利用者と接する職員(5万円)

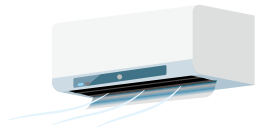
- 4 児童福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策(保育所、放課後児童クラブ、児童養護施設等)

- 5 ひとり親家庭へ臨時交付金の支給(5万円/世帯 第2子以降児童1人につき3万円加算)



- 6 夏季休業期間中の授業実施に伴う非常勤講師の配置

- 7 夏季休業期間中の授業に集中できる環境整備(空調リース、光熱費)



- 8 私立学校における民間オンライン学習支援サービス導入

- 9 中小企業者や商店街の支援(市町村のプレミアム商品券発行補助)

- 10 県内旅行の需要拡大を図る観光関連産業支援(宿泊・旅行・交通事業者等)
 - *県民の県内旅行促進(旅行商品の購入者に対して代金の1/2相当割引・最大1人1回あたり1万円)

ジブリパーク3エリア工事請負契約の概要 (106億5,790万円)

2022年秋の開業を目指している3エリアについて、鹿島建設(株)と請負契約を結びました。契約金額は106億5,790万円です。ジブリパークでは本県で初めて、設計段階から施工者が関与するECI方式を採用しています。

【施設整備スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 総合案内センター(仮称)基本設計	基本設計	実施設計	工事	開業
2 広場・メイン基本設計	基本設計	実施設計	工事	開業
3 動物広場基本設計	基本設計	実施設計	工事	開業
4 青春の丘エリア根本路線の調査・概設計	調査	概設計		

【参考】ジブリパーク整備スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
① 青春の丘エリア		実施設計	工事	開業	
② ジブリの大倉庫エリア		実施設計	工事	開業	
③ どんどこ森エリア		実施設計	工事	開業	概ね1年後
④ ものけの森エリア		実施設計	工事	開業	
⑤ 魔法の森エリア		実施設計	工事	開業	

- 青春の丘エリア ~来園者を迎え、導くジブリパークの象徴~
地球屋の建築工事(延約300m²)、猫の事務所の建築工事(約3m²)
エレベーター棟改修工事(約20m²)、ロータリー広場等の造園工事
- ジブリの大倉庫エリア ~ジブリ作品等の保管・保存、展示と遊びと憩の空間~
ジブリの大倉庫の建築工事(延約9,600m²)
常設展示室(5室)、企画展示室、映像展示室(約170席)、カフェ棟
- どんどこ森エリア ~サツキとメイの家と自然空間~
社(約4m²)、社務所(約5m²)、管理棟(約30m²)の建築工事
サブゲート棟の改修・増築工事(約60m²)、散策路、スロープカー等の造園工事

新体育館の整備を推進

2025年夏オープンに向けて、今年度、事業者を募集していくために、「愛知県新体育館の公共事業に係る実施方針に関する条例」及び200億円の債務負担行為が設定されました。PFI手法により、設計・建設から維持管理・運営を一体の事業とすることで、民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用し、世界に通用する愛知・名古屋のシンボルとなる施設を目指します。



事業期間：設計・建設
2021年6月～2025年3月(3年9か月)
維持管理・運営
2025年4月～2055年(30年)

主な代表・一般質問要旨

Q 安心して外来診療を受けられる体制の確保について

県内50か所の帰国者・接触者外来では、感染が疑われる方と、他の患者の動線をわけて診療を行っています。6月2日から唾液を使ったPCR検査が可能となり、現在は1日1,000件を超え、秋には1,600件以上の検査能力を確保できる見込みです。感染症の流行期においても、外来診療体制を維持するため、院内感染対策に必要な支援を行っていきます。オンライン診療については、県内で1,000か所の医療機関で導入されており、対面診療とオンライン診療等の特性や長所を理解した上で受診していただくよう普及啓発に努めていきます。

知事

Q オンライン学習の取り組みに関する市町村教育委員会への支援について

ICTを活用した教育を進める上で基盤となる、児童生徒への端末については、県内市町村で2020年度中に約41万台、2021年度に約15万台が整備され、2021年度末には1人1台が達成される見込みです。ICTの基盤整備は進みつつあるが、自治体間の差が生じており、小中学校における有効な学習支援モデルを早急に示し、ICTを活用した教育の底上げを図っていきます。

教育長

Q 新型コロナウイルス感染症による予防接種への影響について

1歳から2歳未満に行う麻疹(はしか)及び風疹の1回目の接種に差はなく、小学校就学前に接種する麻疹及び風疹の2回目の接種においては、前年比で25%減少、小学校高学年に接種するジフテリア及び破傷風においては39%減少しました。子どもの健やかな成長のために、必要な時期に確実に予防接種を受けていただくよう、市町村と連携して啓発に努めていきます。

局長

警察委員会 質疑

本県の犯罪傾向は、刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、特殊詐欺被害については、5月末現在、認知件数307件、被害総額約7億4,600万円であり、昨年同期と比較して、80件、約4億1,400万円と大きく増加しています。最近では、新型コロナウイルス感染症に便乗した新たな手口も発生しており、未然防止が重要な課題であり、社会情勢の変化における今後の対応について質しました。



Q 特殊詐欺や子どもに対する声掛け事案等についてどのようなことが懸念されているのか?

特殊詐欺は、高齢者を中心にキャッシュカードを狙った手口の被害が急増しており、特に、「特定定額給付金」に関連した手口を警戒しています。子どもへの声掛け事案は、休校期間中に比べ大幅に増加しており、学校再開後、通学に慣れない子どもや、例年の夏休みの期間も通学することになることから、効果的な防犯意識の高揚を図ります。



Q 感染拡大に配慮する社会生活において、どのような形で被害防止に向けた活動を推進されるのか?

非対面の啓発活動としてSNS、マスメディア、動画を活用するとともに、増加している特殊詐欺に対してはコールセンターを効果的に活用していきます。一方で、情勢を見ながら従来型の高齢者や子供を対象とした啓発活動を徐々に再開し、感染拡大防止に最大限配慮しながら、被害の未然防止を図っていきます。

要望 社会の変化に併せて活動のあり方も変化させて、未然に防止するための取り組みの強化を!!